

人工知能を用いた急性冠症候群の病因同定に関する研究

2015年1月1日から**(承認日)**までに急性冠症候群のためにカテーテル検査・治療を受けた患者様

研究協力をお願い

当科では「人工知能を用いた急性冠症候群の病因同定に関する研究」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2015年1月1日から**(倫理委員会承認日)**に日本医科大学千葉北総病院循環器内科に入院され、急性冠症候群のために心臓カテーテル検査・治療を受けられた患者様の急性冠症候群の病因を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：人工知能を用いた急性冠症候群の病因同定に関する研究

研究期間：2021年6月1日～2023年5月31日

当院における研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 循環器内科 栗原 理

(2) 研究の意義、目的について

人工知能を用いて急性冠症候群の病因同定し、急性冠症候群への適切な治療法を確立することを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2015年1月1日より**(倫理委員会承認日)**までに日本医科大学千葉北総病院循環器内科に入院され、急性冠症候群のために心臓カテーテル検査・治療を受けられた患者さんについて、以下の情報・試料を収集、使用します。

情報；年齢、性別、採血結果など

試料；冠動脈造影画像、光干渉断層法画像など

これらの試料・情報は、日本医科大学千葉北総病院循環器内科にて収集・解析されます。冠動脈造影画像を匿名化を行った上で CD-R に書き込み、共同研究機関である高知工科大学へ郵送されます。冠動脈造影画像は高知工科大学で人工知能を用いて解析され、冠動脈造影画像から急性冠症候群の病因が特定可能かの検討を行います。本研究で取り扱う個人情報は本研究の解析目的のみに使用し、それ以外には用いません。得られた情報・試料は個人が特定出来ないよう匿名化したうえで、細心の注意を払い安全に管理致します。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：高知工科大学 情報学群

研究全体の責任者：高知工科大学 情報学群 准教授 栗原 徹

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 循環器内科 助教 栗原 理

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：2019

メールアドレス：kurihara-1980@nms.ac.jp